

# あいち農産物生産流通レポート

平成 2 1 年 6 月号

情報サロン		
・コムギの梅雨前収穫を実現しました	( 農業総合試験場 )	1
地域トピックス		
・豊橋市に「あぐりパーク <sup>しよくさいむら</sup> 食彩村」オープン	( 東三河農林水産事務所 )	2
東日本情報		
・「母の日」における、切り花の動向	( 東京事務所 )	3
西日本情報		
・搾油に適したナタネ品種の選定と栽培技術の確立	( 農業総合試験場 )	5
フラワーページ		
・感動・感謝を演出するチームの一員として...	( 株式会社フレネットHIBIYA 藤井 毅 )	7
青 果		
・愛知産青果物の動向 ( 名古屋・東京市場 )	.....	8
・名古屋・東京市場における青果物の 6 月の見通し	.....	9
花 き		
・切花・鉢花の 6 月の見通し ( 県内市場 )	.....	2 1
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績 ( 2 0 0 9 年 3 月 )	.....	2 5
関連指数	.....	2 6

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

## コムギの梅雨前収穫を実現しました イワイノダイチの早まき・不耕起V溝直播栽培法の確立

### 研究の背景・ねらい

コムギは重要な水田転作作物として、西三河地域を中心に5,440ha(平成20年産)作付けられています。その大部分は大規模水田経営農家により生産されており、農家経営においてもコムギは重要な作物となっています。主要品種は農林61号ですが、成熟期が梅雨と重なるため、収穫作業の計画に狂いが生じたり、降雨や湿害により収量や品質が低下することがあり、梅雨前に収穫できる栽培技術の開発が求められていました。

### 技術の内容

県は16年度に、農林61号に比べて出穂期・成熟期が早く、梅雨前に収穫可能なイワイノダイチを奨励品種に採用しました。イワイノダイチは茎立ち(穂の形成・成長)が遅い特性があり、播種時期を10月下旬まで前進しても凍霜害を受けにくい品種です。

そこで、農業総合試験場ではイワイノダイチの10月下旬まきによる梅雨前収穫技術の開発に取り組み、不耕起V溝直播機(図1)を利用した不耕起V溝直播栽培法を確立しました。



図1 不耕起V溝直播機による播種



図2 初期の生育状況(2006年2月3日)  
左:不耕起V溝直播栽培 右:慣行(耕起)栽培

慣行の耕起栽培で早まきすると初期生育が進みすぎ、年内に葉色の低下が見られるなど生育のコントロールが難しく、収量や蛋白質含量が低下することがあります。

そこで、農業総合試験場がイネ用に開発した不耕起V溝直播機で播種したところ、ほ場(まき溝)が固く根がゆっくり伸長することから、早まきしても生育過剰にならずコントロールできました(図2)。

また、従来の施肥に加えてコムギの生育が旺盛になる3月及び4月に溶け出す肥効調節型肥料(窒素成分4kg/10a)を、播種と同時にまき溝に施したところ、適正な蛋白質含量が確保でき慣行栽培以上の収量性が確認できました(図3)。

### 技術の導入効果

この不耕起V溝直播栽培法は、東海地域の平均的な梅雨入りの6月8日以前に成熟期となる梅雨前収穫技術です。播種前に簡易な整地が必要ですが高速播種が可能となり、播種期が前進し拡大するため、大規模水田経営における適期播種面積が増加し、高品質な県産コムギの生産拡大が期待できます。

なお、この研究成果は「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」によるものです。

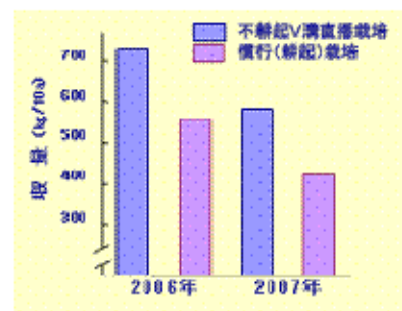


図3 不耕起V溝直播栽培と慣行(耕起)栽培の収量比較

豊橋市に「あぐりパーク<sup>しよくさいむら</sup>食彩村」オープン

平成 21 年 4 月 22 日（水）、豊橋市東七根町地内に、J A 豊橋と J A 愛知みなみの共同出資会社、(株) J A あぐりパーク食彩村（代表取締役は、白井良始 J A 豊橋代表理事組合長）が運営するファーマーズマーケット「あぐりパーク食彩村」がオープンした。

同施設は、平成 14 年に豊橋渥美 I T 農業推進会議で提唱され、行政と関係団体とが協議、検討を重ねてきた結果、実現したもので、登録農家は約 280 戸（目標 700 戸）が参加している。

また、売場面積 800 m<sup>2</sup>、駐車場約 100 台で、年間入場者数 50 万人、年間販売目標 8 億円を目指している。

定休日は毎週木曜日、営業時間は 10 時から 18 時まで。総事業費は、約 2 億 2 千万円で、うち約 5 千万円を豊橋、田原の両市が負担している。



あぐりパーク食彩村オープン

来賓の佐原光一豊橋市長は「名豊道路に隣接し、交通の利便地、市民から大いに期待されている。」また、鈴木克幸田原市長は、「豊橋、田原の大産地で日本をリードしていくことを期待する。」など、期待のこもった祝辞を述べた。

購買者は地元豊橋市はもとより、浜松など県外の客も見込んでいるが、オープンには新鮮で安価な農産物を求めて多くの消費者が殺到した。

なお、愛称「あぐりパーク食彩村」は公募により決められた。

販売農畜産物は、田原牛、黒潮牛（豊橋産）豊橋茶、うずら卵などの地元の特産品を始め、野菜、果物、花、精肉、加工品、苗、工芸品など少量多品種を品揃えしている。

運営は、地産地消と安全へのこだわりをコンセプトに、商品はすべて、どのような方法で栽培されたかがわかるように生産履歴を開示し、生産者名も明記している。

当日は、前日の雨模様とはうって変わって日差しの強い晴天で、午前 10 時のオープンに先立ち行われたセレモニーでは、白井代表取締役が、日本一の産地でのオープンを宣言した。



農産物を求めて長蛇の列

## 「母の日」における、切り花の動向

花き市場では、お盆やお正月など特に花き需要が高まる日を「モノ日」と呼び、モノの大きな動き(需要増)と価格(高単価)に高い期待を抱いています。去る5月10日(日)は、「母の日」ということで、普段以上に消費者がカーネーションを始めとする切り花を買い求めるため、関係者にはとても“忙しい日”となります。4月中旬には、「日本生花通信配達協会(花キューピット)」が母の日商材にカーネーション品種「ムーンダスト」を追加し、品質面の理由から「ガーベラ」を2年続けて外したとの話題も出ました。花キューピットの加盟店は全国で4700店舗と日本最大級であるため、その影響が業界でも懸念されていました。



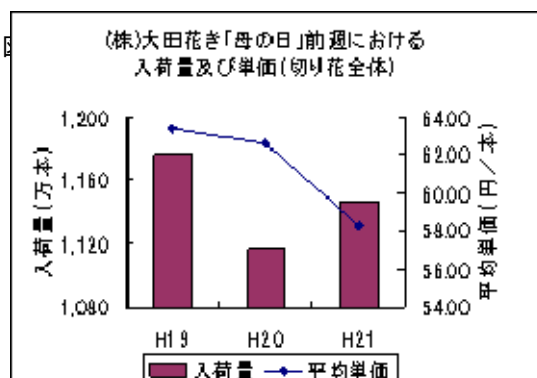
実際、今年の「モノ日」の動向はどうだったのでしょうか？

テレビやインターネットなどでは、「母の日」のプレゼントを何にするかのアンケートが報道されていましたが、「プレゼントする」と答えた人の約半数が「花を贈る」としているほど、「母の日」=「花」のイメージは定着していると思います。

しかし、市場関係者の間では、「盛り上がりには欠けた」との声が多く、消費者のイメージと反する結果となっているようです。

そこで、過去3年の「母の日」=「モノ日」の動向を調べてみました。(図1)

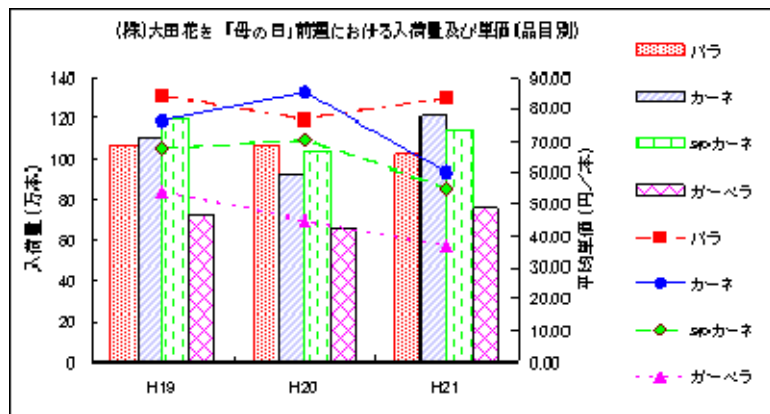
今年の場合、「母の日(5月10日)」に向けてお花屋さんが「仕入れをする日」は、その前週の切り花開市日(5月4,6,8日)となります。大田市場の卸売会社である(株)大田花きにおけるこの3日間の切り花の入荷量と平均単価を見ると、入荷量は前年比102.7%、平均単価は前年比93.2%となっています。これでは、「盛り上がりには欠ける」のも無理はありません。



市場関係者に話を聞くと、昨年から続く不景気マインド、大型連休、天候不順がその理由ではないかとのこと。具体的には、不景気で消費者の財布のひもが固く、大型連休と政府の経済対策の目玉である「高速道路1000円」でお花

を買いに行くより外出する人が多かった上に、母の日直前は天気が悪く外出が少なかったということでしょう。

図2は(株)大田花きの母の日前週における特定品目の入荷量と数量をグラフにしたものです。バラの平均単価が前年を上回った(109%)ものの、カーネーションの平均単価が前年比70.3%、SPカーネーションが78.2%、ガーベラが82.6%です。もはや「量も多く、価格も高い」モノ日の話しは過去のこととなってしまったかのようです。



暗い話題の中で、ある大手小売店の担当者に話を聞くと、「久しぶりに前年比100%を超えました」とニコリしていました。主な内容は次のとおりです。

- ・母の日直前まで配達予約を受け付けた。
- ・花材はカーネーションが中心となっているが、消費者の希望に合わせてその他の花を組み合わせたアレンジも積極的に行った。
- ・本音は国産が使いたいですが、コロンビア産のカーネーションの品質が国産と遜色なくなって来ており、数量も安定していて割安感があるので、一部国産から切り替えた。

前出の市場関係者は、「事前に色々な媒体を使って(色々なメニューを提案して)積極的に売り込んだ小売店は売り上げ微増。待ちの姿勢であった小売店が厳しい結果となったようだ」とも。

では、比較的安価な外国産の品質が向上して来た場合、国内産地はいかにして立ち向かっていくべきか。

別の関係者は、「近年の傾向として、モノ日であっても、量が多ければ単価も下がる傾向にあり、市場としっかりと話し合っ出て荷する必要があります。また、母の日=カーネーションではなく、好みも多様化しているので、花材の組み合わせなども産地から提案してもらっても良いと思う。」と話していました。

小売店担当者の話にもあったように、国産を使いたいという思いは根強くあるようですが、商売である以上、価格も重要な要素になってきます。国産の優位性は、絶対的な品質の向上と、地域性を生かした市場との販売戦略の構築にあると考えます。厳しい時期だからこそ、消費者に目を向け「作り手」と「売り手」が緊密に話し合っていくことが国内産地に出来ることではないでしょうか。

ところで皆さんは、今年の「母の日」には何を贈りましたか？

## 搾油に適したなたね品種の選定と栽培技術の確立

本県では、資源の循環利用を推進する取組の一つとして、「菜の花エコプロジェクト<sup>1</sup>」を推進しています。

農業総合試験場では、菜の花を搾油用としてのなたね、景観保持作物としての菜の花、食用としてのナバナ等、多目的に利用できるようにそれぞれの目的に合った栽培技術等の試験研究を行っています。(平成18年度～)

ここでは、農業総合試験場で行っている搾油に適したなたね品種の選定と栽培技術の確立に向けた試験研究内容についての一部を紹介します。

## 1 搾油に適したなたね品種の選定と栽培技術のポイント

- 食用油に適した品質.....エルシン酸<sup>2</sup>を含有しない品種であること
- 梅雨の前に収穫が可能.....成熟の早い品種の選定、播種時期の検討
- 収量が多い.....高収量品種の選定、播種量・播種時期の検討
- 倒伏が少ない.....耐倒伏性品種の選定、播種量・播種時期の検討
- 耐病性.....病気になりにくい品種であること

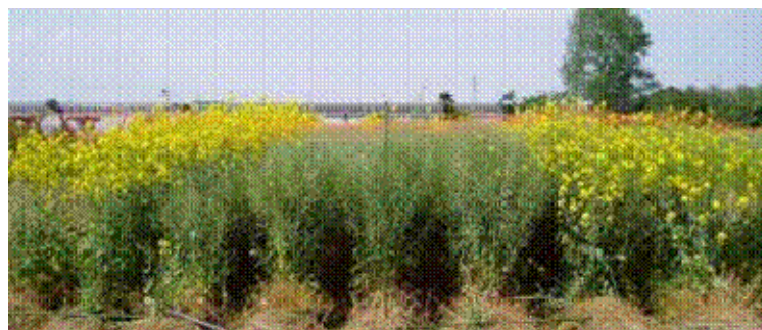
## 2 成果

## (1) 本県に適した無エルシン酸なたね品種の選定

平成18年作において、(独)農研機構・東北農業研究センターから提供された無エルシン酸なたねの5品種・2系統から本県に適した品種の栽培試験を行い、有望な品種として3品種「ななしきぶ」、「キザキノなたね」、「キラリボシ」を選定しました。

また、本県における播種適期は、収量性と病害虫回避の点から10月上旬であると思われました。

平成19年作では、前年度に選定した3品種の品種比較試験を播種時期を組み合わせで行いました。その結果、10月12日播種の「ななしきぶ」が収量性、収穫時期、耐倒伏性等の面から優れていたことから、「ななしきぶ」が最も本県に適した品種であると思われました。



品種比較試験(平成21年4月22日撮影)  
左から順にT830、ななしきぶ、キザキノなたね(10月5日播種)  
同日に播種しても品種により開花時期、収穫時期は異なる。  
梅雨前に収穫が可能な品種であることが求められている。



害虫による食害の発生状況(10月)  
早期に播種(～9月中旬)すると害虫による被害が甚大となり減収する。

平成 20 年作では、播種量の差が収量に及ぼす影響について「ななしきぶ」と「キザキノナタネ」を用い、250g/10a ~ 1000g/10a までの播種量を組み合わせて比較試験を行いました。

その結果、条播した場合の播種適量は 250g/10a ~ 500g/10a 程度が適当であると思われました。



播種時期の差による生育量(12月下旬)  
播種時期が遅すぎると生育が止まる冬季までの生育量が不足し、減収する。

## (2) ナタネ栽培技術の確立

ナタネは湿害に弱いと言われているため、うねの有無が収量性に及ぼす影響を比較しました。

その結果、うねの存在はナタネの生育、収量を向上させたことから排水対策の重要性を確認することができました。

表 うねの有無が生育、収量に及ぼす影響

うねの有無	草丈 (cm)	穂長 (cm)	倒伏程度	菌核病	子実重 (kg/a)
あり	128	55	無	無	35.4 kg
なし	117	51	無	無	30.8 kg

品種：ななしきぶ、播種：平成 18 年 10 月 13 日、成熟期：平成 19 年 5 月 24 日

## 3 今後の計画

搾油用ナタネは、近年の資源循環型社会への関心の高まりから注目されており、全国各地で栽培されるようになってきましたが、野菜等と比較して経営的に成り立ちにくいという課題があります。

このような課題解決のため、減肥料栽培や栽培管理の省力化等、低コスト省力栽培技術の確立に向けた試験研究を行っていく予定としています。



観光資源としても有用な菜の花

### 1 菜の花エコプロジェクト

菜の花を栽培し、ナタネから搾油し、油かすを肥料等に利用する一方、食用に利用したナタネ油の廃油を回収し、石油代替燃料として再利用すること等を推進するもので、資源循環型社会の形成を目指す取組の一つ。

### 2 エルシン酸

過剰に摂取すると心臓障害を引き起こすと言われている不飽和脂肪酸のこと。  
食用油を多用する食生活による過剰摂取でリスクが高くなる。

## 感動・感謝を演出するチームの一員として...

今年の「母の日」皆様はいかがでした？

3月市況の高騰、その後「母の日」需要では、昨年を大幅に下回る市況相場。私達小売店様へ卸をしているものとしては、大変厳しい「母の日」であったと振返っています。

ではどの小売業態も厳しかったのか？そうではないように感じます。所謂2極化がより一層激しくなったようです。ネット通販時代に突入した現在、ただネットに出店しているだけでは難しい。消費者の方に支持されるwebサイト運営が大きな分岐点。どれだけお客様視点でのご提案が成功に近づくようです。

私達流通業もお客様視点でどれだけご提案できるか、更に作り手である生産者の皆様にその情報をお伝えするかが『勝ち残り』いや唯一の『生き残り』への道であると感じる「母の日」でした。

さて6月を迎える私達が今一番にやらなくてはならないこと。勿論日々の売上に対し、ギフトチャンスが少ないこれからの夏場に向かい少しでも積み上げていかなくてはなりません。9月以降のウエディングシーズンへの準備が最大の課題です。

世界大不況がウエディングの消費動向を変えていく可能性が高まる。新郎新婦がもし財布の紐を締めるとなれば...恐ろしいことですが、招待客数を減らす、それぞれの単価を下げることを考えます。

さて、この秋ご婚礼を挙げられるお客様とのご契約は、7～8月に各ホテル・式場で開催される『ブライダルフェア』で行います。ここで、商品・サービスなどのご提案をおこないご契約いただきます。このタイミングを逃すことイコール秋のウエディング市場での敗北に繋がります。だからこそ重要な時期になります。

ウエディングは一生の中で、自分自身が自分のために、また自分達のためにお集まり戴いたお客様にたいして企画演出できる人生の中で数少ないイベントです。そのためのお手伝いをするのがウエディングに関わる全ての人々の仕事です。感動や感謝の演出、ご新婦さんの憧れのお手伝いなど...だからこそ、お客様の目線や立場で商品・サービスを企画していきます。

花きを生産されている皆さんはその感動演出家の一員なのです。愛知県は国内最大の花き生産エリア。実は皆様の生産されたお花が全国で感動や感謝、ご新婦さんの憧れのお手伝いをしています。皆さん私達ともっとお手伝いをしてみませんか？

「母の日」は最愛のお母さんへの感謝。そのための演出です。ご葬儀も同じです。お亡くなりになった方への感謝、そしてお亡くなりになった方とご遺族の方々から参列者への感謝。お彼岸・お盆はご先祖への感謝の。お花はいつも感動や感謝の演出です。1輪のお花で空腹は満たされませんが、気持ちは満たされる...

この様な厳しい経済環境、そして大きな不安を抱える社会環境に生きているからこそ、私達の仕事は現代社会において大事な仕事ですよね。そのためにも壁を取払い「チーム感動演出」で頑張りましょう。『勝ち残る』ために、いや『生き残る』ために！

『ブライダルフェア』は年間2回程度開催されます。多くは夏に秋季のご婚礼ご予約者、冬に春季のご婚礼ご予約者をご招待した内覧会です。近年、『ミニブライダルフェア』として年数回開催されるホテル・式場もあります。ここで、婚礼商品扱い企業（飲食・衣装・写真・引き出物・装花など）が、ご来場戴いた新郎新婦・ご両家のご家族様にご提案していきます。



# 愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

## 名古屋市中央卸売市場（品目：おおば）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	23	20 (89%)	1,858	1,850	高知 (7%)
21年見通し	24	23	1,800	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>地元愛知からの入荷がほとんど。                      天候による生育の遅れ、病害虫の発生もなく順調である。                      斑点病に強く香りのよい「愛経1号」がこれから夏場にかけて出荷される。                      入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>ツマとしての用途が主で、業務用（回転寿司、鮮魚等）の需要が多い。                      ジュース等新たな用途を紹介するなど、健康野菜としてのPRが望まれる。                      出荷の際は、髪の毛などの異物混入に注意するとともに、気温上昇に伴って傷みがちになるので、病気の無いものを選んでほしい。</p>		

## 東京都中央卸売市場（品目：ハウスみかん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	686	90 (13%)	999	1,139	佐賀 (61%) 大分 (12%) 熊本 (4%)
21年見通し	620	-	1,000	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>佐賀を中心に愛知、大分、熊本など九州地域から入荷する。全国的にハウスみかんの加温面積は大きく減少しているため、入荷も減少する見込み。佐賀、愛知とも生育順調である。                      入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並で推移すると見込まれる。</p>			<p>ハウスみかんは5月から7月にかけてのギフト商材としての需要がある。                      愛知産は、食味も良く品質管理がしっかりなされており、果専門店や量販店などからの信頼が高いだけに評価も厳しい。出荷にあたっては特に浮皮や着色などに注意して選果して欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し

名古屋市中央卸売市場

5月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	16年	37,272	219	233	224	200	愛知 24%
	17年	38,057	176	187	178	164	長野 15%
	18年	38,439	207	222	204	193	茨城 8%
	19年	37,066	183	185	179	187	青森 6%
	20年	32,995	222	218	228	219	
	5ヵ年平均	36,766	201	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	34,600	203	-	-	-		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>地元愛知と葉もの入荷が増える長野、茨城からの入荷が中心となる。根菜は出荷安定する見込み。葉ものは生育順調、果菜は品質良好で入荷安定する見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこん	16年	2,374	96	77	105	109	青森 66%
	17年	2,240	70	78	61	72	愛知 15%
	18年	2,347	86	85	92	83	北海道 15%
	19年	2,208	77	81	79	73	長野 2%
	20年	2,196	77	70	85	75	
	5ヵ年平均	2,273	81	78	85	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	2,200	80	80	80	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森からの入荷が中心となる。愛知は終了へ。生育はおおむね順調。数年来の単価安で作付面積が減少しているが、消費も減る時期で入荷に影響はないと予想される。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
にんじん	16年	1,868	132	117	144	136	岐阜 54%
	17年	1,755	108	117	103	102	愛知 12%
	18年	1,856	187	179	198	187	千葉 10%
	19年	1,827	116	118	110	121	北海道 8%
	20年	1,543	204	189	210	219	
	5ヵ年平均	1,770	148	143	152	151	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	1,600	150	140	150	160		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>岐阜からの入荷が中心で、作柄は順調で安定した入荷が見込まれる。徳島は上旬で終了予定。一昨年からの中国産野菜への不信から、加工・業務用需要が国産にシフトし、今年も入荷増える見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

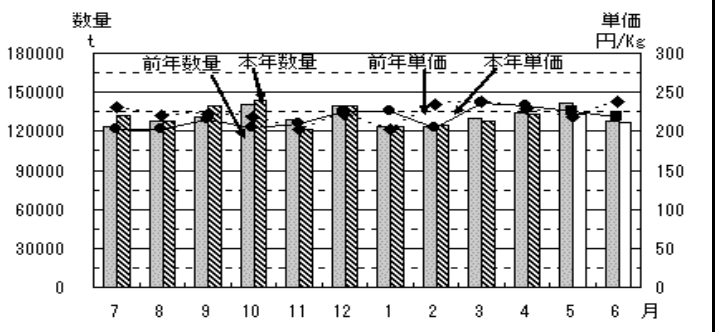
5月20日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	16年	135,939	228	236	235	214	千葉 17%
	17年	140,554	177	178	171	184	茨城 15%
	18年	135,837	223	231	220	218	長野 8%
	19年	133,725	197	196	196	201	群馬 7%
	20年	127,808	238	235	242	238	(愛知産比率) 2%
	5カ年平均	134,773	213	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	127,200	218	-	-	-		

**産地状況と  
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

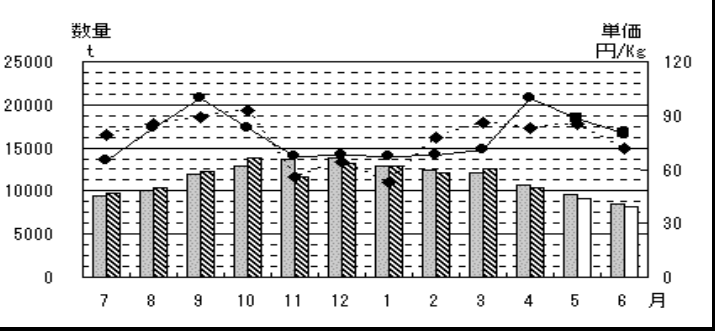
葉菜類の入荷は関東産地と長野、また果菜類、土物類は西南暖地からの入荷が中心となる。各産地とも気温の上昇とともに、概ね順調な入荷が見込まれる。  
入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。



だいこん	16年	8,214	94	76	103	106	青森 55%
	17年	8,198	66	67	58	70	千葉 26%
	18年	8,552	84	81	89	83	北海道 10%
	19年	8,038	76	76	76	75	宮城 3%
	20年	8,458	72	64	80	74	(愛知産比率) 0%
	5カ年平均	8,292	78	73	81	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	8,200	80	90	75	75		

**産地状況と  
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

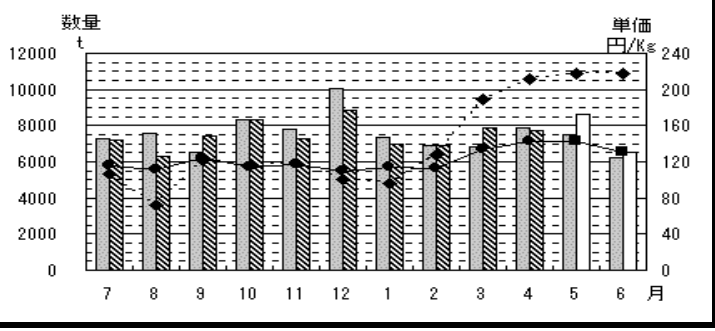
宮城以北の産地と千葉からの入荷が中心となる。青森、北海道の生育は4月下旬の降雪の影響で遅れている。千葉の生育は一部で生育遅延があるものの概ね順調である。市場入荷量は中旬以降に増加見込み。  
入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み



にんじん	16年	6,979	138	140	146	127	千葉 71%
	17年	7,453	94	115	84	83	埼玉 9%
	18年	6,762	186	191	190	178	茨城 6%
	19年	6,914	102	107	94	106	北海道 3%
	20年	6,262	218	236	204	211	(愛知産比率) 0%
	5カ年平均	6,874	145	155	141	139	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	6,500	130	120	120	145		

**産地状況と  
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

千葉からの入荷が中心となる。千葉の生育は一部産地を除き概ね順調である。埼玉の生育は平年より5日遅れているが平年並みの出荷が見込まれる。  
全体の入荷量は前年をやや上回るが、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
ほうろくさい	16年	2,488	89	97	93	80	長野 83%
	17年	2,247	65	68	67	61	茨城 16%
	18年	2,500	98	109	113	72	愛知 1%
	19年	2,330	76	82	76	72	
	20年	2,042	87	78	83	102	
	5ヵ年平均	2,321	83	88	87	77	
21年見通し	2,200	80	80	80	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城から長野へ。入荷量増える。長野も毎年減反しているため、例年より茨木さんのウェイトが高まることと予想される。生育、作柄は順調。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
キャベツ	16年	3,383	106	116	84	119	茨城 50%
	17年	3,345	54	58	46	58	愛知 34%
	18年	3,980	94	128	81	73	長野 9%
	19年	3,779	78	69	73	94	兵庫 4%
	20年	3,518	81	62	81	107	
	5ヵ年平均	3,601	83	87	73	90	
21年見通し	3,600	80	80	80	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城、愛知を中心に、長崎、兵庫の残量加わる。愛知は作付面積を大きく増やしており、入荷増が見込まれる。天候によって単価が左右される時期となる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年度並みとなる見込み。</p>					
ほうろく	16年	298	576	623	563	546	岐阜 78%
	17年	347	459	406	450	542	長野 7%
	18年	351	526	483	515	591	北海道 3%
	19年	344	489	446	471	563	
	20年	294	540	477	632	520	
	5ヵ年平均	327	516	483	522	554	
21年見通し	340	500	450	500	550	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜を中心に、北海道、長野からごく一部入荷。作付面積は変化なし。需要期ではないため、価格に大きな変化はないと予想される。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	16年	6,079	73	70	76	73	長野 52%
	17年	5,989	40	37	40	44	茨城 29%
	18年	5,877	84	95	98	61	群馬 16%
	19年	5,263	54	56	51	54	青森 1%
	20年	5,280	66	52	59	87	(愛知産比率) 0%
	5ヵ年平均	5,698	64	62	65	64	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し		5,200	65	65	65	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城が終盤を迎え、長野、群馬の高冷地もの入荷が増加する。長野、群馬の生育は概ね順調で平年並みである。茨城は栽培面積の減少と前進気味の生育により切り上がりが見込み。 入荷量は前年並みで、価格も前年並みの見込みである。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は7月～12月まで増加傾向にあり、1月～6月は減少傾向にある。単価は7月～12月まで上昇傾向にあり、1月～6月は減少傾向にある。</p>					
キャベツ	16年	14,745	92	104	69	103	千葉 41%
	17年	15,744	47	53	34	53	茨城 26%
	18年	15,956	82	96	73	74	群馬 9%
	19年	13,972	68	63	64	78	東京 6%
	20年	14,767	67	60	63	80	(愛知産比率) 2%
	5ヵ年平均	15,037	71	75	60	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し		15,500	75	95	80	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心。遅れていた千葉の生育は5月に入り、降雨と気温上昇で回復し前年を上回る見込み。茨城、東京の生育は順調で玉肥大も良好である。群馬の生育は前年並みの見込みである。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は7月～12月まで増加傾向にあり、1月～6月は減少傾向にある。単価は7月～12月まで上昇傾向にあり、1月～6月は減少傾向にある。</p>					
ほうろくそ	16年	1,467	496	515	449	523	群馬 24%
	17年	1,575	365	319	322	480	茨城 20%
	18年	1,545	453	411	417	558	岩手 19%
	19年	1,626	352	323	320	423	栃木 16%
	20年	1,616	405	393	419	403	(愛知産比率) 0%
	5ヵ年平均	1,566	412	390	384	476	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し		1,700	410	410	410	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地に加え岩手からの入荷が本格化してくる。群馬は中山間地もの中心となるが5月の寒さで出荷が遅れる見込み。茨城、栃木は4月の霜害の影響もなく順調な生育。岩手は平年並みの生育。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は7月～12月まで増加傾向にあり、1月～6月は減少傾向にある。単価は7月～12月まで上昇傾向にあり、1月～6月は減少傾向にある。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	16年	881	347	395	332	313	愛知 42%	
	17年	821	314	317	299	324	大分 12%	
	18年	795	381	390	406	349	鳥取 8%	
	19年	839	366	375	396	329	茨城 8%	
	20年	768	443	494	434	401		
	5カ年平均	821	369	393	372	342	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	800	350	350	350	350		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		産地は愛知が中心で、生育も順調、安定した出荷が見込まれる。鳥取は作型が切り替わる時期なので一時的に入荷が減少する見込み。一昨年以来の中国産野菜への不信から、国産回帰傾向。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。						
レタ	16年	1,819	168	228	163	130	長野 98%	
	17年	1,846	95	112	80	94	兵庫 1%	
	18年	2,186	127	196	104	91	愛知 0%	
	19年	2,064	144	180	141	118	徳島 0%	
	20年	1,580	171	201	184	139		
	5カ年平均	1,899	140	183	132	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	1,700	160	170	160	150		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		産地は長野中心。低地の松本、塩尻から浅間、6月に佐久へと移る。高地では冷え込んでいることから霜の発生と出荷の遅れが心配される。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。						
きゅうり	16年	2,221	193	207	221	155	埼玉 34%	
	17年	2,103	149	122	156	175	愛知 19%	
	18年	2,316	221	166	233	276	長野 17%	
	19年	2,060	197	195	168	233	群馬 14%	
	20年	1,780	233	254	222	223		
	5カ年平均	2,096	198	187	200	213	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	2,000	180	160	180	200		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		産地は愛知が最終で、長野の促成もの、他に埼玉、群馬などから入荷する。露地ものも出て、安定的な入荷が見込まれる。秀品率が下がっており、春のきゅうりは終盤。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	4,463	248	249	249	249	茨城 63%
	17年	4,335	249	245	229	273	千葉 22%
	18年	4,523	277	264	314	257	中国 7%
	19年	4,367	256	249	262	258	埼玉 3%
	20年	4,353	367	437	339	320	(愛知産比率) -
	5ヵ年平均	4,408	279	288	280	269	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	4,440	280	300	300	260		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉からの入荷が中心となる。茨城の生育は順調であり、入荷のピークを迎える。千葉の生育はやや遅れ気味だが作柄は概ね良好である。埼玉の生育は概ね順調である。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
レタ	16年	8,160	157	202	154	119	長野 65%
	17年	7,963	76	95	57	79	群馬 23%
	18年	8,085	119	170	104	89	岩手 15%
	19年	7,480	132	161	127	114	茨城 4%
	20年	7,147	158	183	166	130	(愛知産比率) -
	5ヵ年平均	7,767	128	162	121	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	7,200	120	110	125	125		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からの入荷が本格化する。長野の生育は連休前後の霜害、低温で遅れがみであったが平年並みに戻りつつある。群馬は4月の低温で遅れ気味だったが生育が回復し平年並みの予想。</p> <p>入荷量は前年並み、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅう	16年	8,214	190	208	220	151	埼玉 28%
	17年	7,672	158	132	158	182	群馬 14%
	18年	7,781	210	237	204	189	福島 14%
	19年	7,518	196	195	170	226	茨城 11%
	20年	6,901	229	248	223	218	(愛知産比率) -
	5ヵ年平均	7,617	196	203	195	192	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	6,900	170	170	170	170		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>埼玉は4月以降の好天で草勢が回復し平年並みの生育。群馬は平年並み。福島は無加温に切り替わり生育順調。茨城は草勢回復が遅れ、高温期の成り疲れが懸念される。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	16年	1,372	278	325	298	227	愛知 51%
	17年	1,775	176	201	167	161	熊本 31%
	18年	1,351	291	304	284	284	宮崎 6%
	19年	1,415	237	236	245	228	高知 6%
	20年	1,184	293	278	293	311	
	5カ年平均	1,419	249	264	251	236	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,300	250	240	250	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知の千両、熊本の長なす。愛知は気温上昇、日照増で入荷増傾向。熊本は生育順調で病害虫もなく、品質良好で、大玉傾向。作付面積はやや減っている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み</p>					
ト マ ト	16年	1,735	239	218	224	278	愛知 35%
	17年	2,002	172	186	156	174	熊本 24%
	18年	1,734	256	237	233	301	三重 14%
	19年	1,879	214	205	212	223	岐阜 11%
	20年	1,814	218	211	216	226	
	5カ年平均	1,833	218	210	207	238	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,750	250	250	250	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で作柄は良好、入荷はピークを迎える。高温で色付き良く、入荷も安定する見込み。下旬は夏秋産へ移行する見込み 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	16年	278	539	519	503	615	愛知 45%
	17年	387	408	428	388	404	熊本 27%
	18年	294	544	474	519	672	北海道 17%
	19年	376	462	426	450	511	
	20年	319	524	515	519	538	
	5カ年平均	331	489	468	470	537	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	300	550	500	550	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道産が出回る。他に愛知、熊本、和歌山。熊本の春タイプのものが早めに切り上がることが予想されるため、数量的には例年より少なめの月となる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み</p>					



品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	16年	5,467	299	348	314	249	高知 32%
	17年	6,125	214	222	213	206	福岡 20%
	18年	4,973	342	349	338	338	群馬 17%
	19年	5,261	258	258	269	246	茨城 7%
	20年	4,661	346	343	335	362	(愛知産比率) 0%
	5ヵ年平均	5,297	288	300	290	275	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	4,800	330	260	320	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡に関東産地が加わる。高知は生育終盤で前年並の生育。福岡は5月中旬の出荷ピーク後に草勢低下したが6月には回復する見込み。群馬は無加温が中心となり順調に入荷する見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	16年	9,058	252	225	284	256	栃木 21%
	17年	10,138	175	184	152	190	茨城 15%
	18年	9,161	252	252	230	272	千葉 13%
	19年	9,280	226	223	224	232	愛知 12%
	20年	8,249	248	238	254	249	
	5ヵ年平均	9,177	229	223	227	239	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	8,450	240	290	250	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心。栃木は草勢回復が遅れ小玉傾向。茨城は産地により作付面積の減少と病害発生がみられる。千葉は生育遅れが回復しているが小玉傾向。下旬から東北産も増加見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	16年	988	473	436	420	429	愛知 28%
	17年	1,223	356	399	317	349	熊本 20%
	18年	1,079	519	461	478	630	千葉 15%
	19年	1,225	441	427	433	463	茨城 6%
	20年	1,135	502	492	317	515	
	5ヵ年平均	1,130	455	442	391	475	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,100	500	480	420	540	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本が終盤を迎え、関東産地からの入荷が増加してくる。どの産地も小玉傾向で入荷量は少なめ。千葉は5月中旬から増加、茨城も6月にピーク。東北産がやや遅れ気味で入荷はまだ少ない。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	16年	681	318	335	334	281	茨城 40%	
	17年	790	230	233	215	246	宮崎 32%	
	18年	718	330	436	288	268	高知 25%	
	19年	681	265	249	266	283	愛知 1%	
	20年	612	341	298	367	364	(愛知産比率 0%)	
マ	5カ年平均	696	294	309	290	285	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	650	320	300	320	350		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地は西南(宮崎、高知、鹿児島)は終了し、茨城からが主体となる。消費は、袋売りより、バラ売りの割合が増える。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み						
ばれいしょ	16年	3,617	106	118	97	102	長崎 70%	
	17年	3,517	127	133	140	110	静岡 17%	
	18年	3,669	118	125	114	113	熊本 4%	
	19年	3,219	80	81	77	85	愛知 4%	
	20年	2,519	147	143	150	149	(愛知産比率 0%)	
い	5カ年平均	3,308	114	119	114	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	3,000	120	120	120	120		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地は長崎、静岡が中心。長崎は徐々に入荷が減り、静岡は小玉傾向ながら順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。						
たまねぎ	16年	3,890	73	70	73	76	愛知 65%	
	17年	4,611	63	62	65	64	兵庫 20%	
	18年	4,936	62	61	61	65	北海道 8%	
	19年	4,300	53	47	52	63	佐賀 4%	
	20年	4,064	63	66	65	59		
ね	5カ年平均	4,360	63	61	63	65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	4,000	65	65	65	65		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		愛知、兵庫中心を中心。雨の影響で全体的に出荷が遅れたが、玉は肥大している。 L～2L中心の出荷。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	2,725	290	259	263	247	茨城 87%
	17年	2,703	175	191	173	161	岩手 5%
	18年	2,752	332	447	310	236	高知 4%
	19年	2,828	246	273	246	220	宮崎 2%
	20年	2,288	366	357	409	335	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	2,659	279	304	276	237	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,700	280	300	250	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		西南暖地が終了し、茨城からの入荷が大 半となる。茨城の生育は順調で平年をや や上回る。岩手は5月以降の好天で生育は 平年並みに戻っている。高知は平年並みで あるが下旬に切り上がる見込み。 入荷量は不作だった前年を大幅に上回 り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
ばれいしょ	16年	8,285	120	133	118	105	長崎 44%
	17年	8,165	127	130	129	119	静岡 17%
	18年	8,756	123	128	121	117	茨城 12%
	19年	8,969	78	80	78	76	千葉 10%
	20年	7,374	147	148	145	147	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	8,310	118	123	117	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	7,400	140	140	140	140	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		長崎や関東産地からの入荷が中心。長崎 の生育は前進しており入荷は少ない。静岡 の白マルチ栽培は干ばつの影響でやや遅れ ぎみで小玉傾向。茨城、千葉は生育順調で ある。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前 年をやや下回る見込み。					
たまねぎ	16年	11,249	83	79	83	89	佐賀 56%
	17年	11,811	74	71	73	79	香川 12%
	18年	12,419	72	74	66	78	兵庫 12%
	19年	10,662	66	55	69	76	愛知 3%
	20年	11,235	84	86	83	81	
ね	5カ年平均	11,475	76	73	75	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	9,500	90	90	90	90	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		佐賀からの入荷が中心となる。佐賀は定 植時の降雨で定植遅れが一部みられる。2 月以降の好天で回復しているが小玉傾向。 香川は平年並みだが栽培面積が減少。兵庫 も生育は順調で平年並み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前 年をかなり上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	16年	17,186	291	275	294	302	愛知 23%
	17年	16,228	286	280	278	301	フィリピン 21%
	18年	11,892	342	331	348	346	アメリカ(合) 11%
	19年	11,642	347	343	343	353	熊本 9%
	20年	10,549	342	332	338	356	
	5カ年平均	13,499	316	-	-	-	
	21年見通し	10,000	320	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>昨年来の重油高騰からハウスものは加温の遅れにより生育遅れ気味。すいか、メロンは作付面積減少。 全体として入荷は少なめだが、消費が低迷していることから低価格傾向。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
アンデスメロン	16年	288	334	325	342	350	茨城 92%
	17年	359	288	344	287	222	山形 5%
	18年	299	340	379	356	270	熊本 2%
	19年	224	326	411	311	256	
	20年	172	319	350	296	290	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	268	320	360	319	275	
	21年見通し	170	330	340	330	320	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本が終了し、茨城に移ってくる。茨木の作付面積は減少しており、関東からの入荷は不安定。高いと売れないため、箱2000円程度(5個入)のものが出る。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
すいか	16年	2,964	138	162	134	124	愛知 75%
	17年	3,003	139	149	133	134	熊本 14%
	18年	2,212	183	198	188	167	鳥取 7%
	19年	2,383	154	179	155	140	石川 2%
	20年	2,096	206	217	208	193	
	5カ年平均	2,532	160	178	159	148	
	21年見通し	2,000	160	170	160	150	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に、熊本、鳥取からも入荷。愛知、熊本ともに作付面積を減らしている。熊本は中旬以降減少する見込み。露地ものは生育、玉サイズにばらつきが見られる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
果 実 計	16年	39,774	336	343	346	331	茨城 18%
	17年	39,275	328	327	334	326	フィリピン 13%
	18年	34,080	375	348	390	387	千葉 13%
	19年	34,498	376	382	380	368	青森 10%
	20年	32,636	382	371	392	381	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	36,053	358	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	33,500	370	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか類、メロン類中心に「おうとう」や「ぶどう」が入荷する。「おうとう」は主力の山形が前年並みに入荷見込み。「ぶどう」も各産地とも生育順調。各品目とも消費意欲の減退が懸念される。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込まれる。</p>					
ア ン デ ス メ ロ ン	16年	1,739	328	315	340	329	茨城 89%
	17年	2,214	306	354	306	244	山形 10%
	18年	1,602	371	406	483	316	熊本 1%
	19年	1,436	360	432	359	279	(愛知産比率 -%)
	20年	1,392	345	389	349	294	
	5ヵ年平均	1,677	339	375	363	290	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,450	340	380	340	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城中心に入荷する。茨城は6月に入り生育の遅れも回復している。目立った病害虫もなく品質・肥大とも良好で、遅れ分と併せて入荷量は増加する見込みである。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
す い か	16年	10,919	162	152	162	178	千葉 37%
	17年	11,530	156	165	150	153	茨城 21%
	18年	8,787	195	216	196	177	熊本 20%
	19年	11,642	170	195	172	155	鳥取 11%
	20年	9,591	181	204	186	159	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	10,494	171	185	172	164	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	10,000	175	190	175	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本から千葉に切り替わる。千葉の生育は開花期の低温の影響で初期のものに遅れが見られたものの現状は良好で、順調な入荷が見込まれる。茨城の生育も順調だが作付け面積がやや減少している。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>					

# 切花・鉢花の6月の見通し

切花（地方卸売市場ヤマエ生花市場

5月25日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	16年	790	50	
		17年	872	32	
		18年	830	48	
		19年	957	32	
		20年	996	24	
	5ヶ年平均	889	36		
21年見通し	990	25			
概要	<p>愛知を中心に長野からも入荷。「神馬」「精興の誠」等の冬春期の白系主力品種は、6月中旬をめぐり夏ギクの「岩の白扇」に移行する。長野からは中下旬よりハウス物の出荷も始まる。各産地とも生育順調で、6月は安定した出荷となろう。</p>				
小 ぎ	実 績	16年	665	28	
		17年	542	19	
		18年	457	34	
		19年	688	21	
		20年	671	19	
	5ヶ年平均	605	24		
21年見通し	675	20			
概要	<p>愛知を中心に奈良、長野等から入荷。沖縄産が一気に減少し、近在物中心の入荷となるが、6月後半からは県内の山間部や長野からの入荷も始まる。産地移行により入荷の谷間もある。価格は前半は弱めだが、後半は強めの取引展開となろう。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	16年	545	42	
		17年	666	33	
		18年	591	44	
		19年	477	37	
		20年	467	38	
	5ヶ年平均	549	39		
21年見通し	470	38			
概要	<p>長野を中心に愛知、北海道等から入荷。暖地物はほぼ終了し、高冷地に移行する。高冷地産は順調な生育状況で、6月中下旬に出荷のピークを迎える。全体的な作付はスプレーからスタンダードに移行している。価格は婚礼需要が中心のため、苦しい展開か。</p>				
か す み	実 績	16年	109	53	
		17年	89	49	
		18年	89	61	
		19年	66	58	
		20年	67	59	
	5ヶ年平均	84	56		
21年見通し	68	60			
概要	<p>和歌山、熊本、高知、北海道、福島より入荷。高冷地産は6月中旬より入荷が本格化し、暖地物は終了する。北海道産は本年より「ゆきん子」に代わって「アルタイル」が中心品種となる。価格は需要が少なく苦しい展開が予想されるが、高冷地と暖地物との価格差がでよう。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	16年	229	117	
		17年	214	120	
		18年	206	133	
		19年	168	150	
		20年	203	142	
	5ヶ年平均		204	131	
	21年見通し		205	145	
概要	高知、新潟、愛知、岐阜等から入荷。てっぽうゆりは「日の本」「W・フォックス」が中心の入荷となるも、下旬には「新鉄砲」の入荷も始まる。オリエンタル系は高知産が減少し、新潟産が増加する。すかしユリはLA系を中心に前年並みの入荷予想。価格はほぼ前年並みが見込まれるが、大幅な入荷増となれば苦しい動きとなる。				
洋 ら ん	実績	16年	233	78	
		17年	256	67	
		18年	239	80	
		19年	224	73	
		20年	251	69	
	5ヶ年平均		241	73	
	21年見通し		245	70	
概要	愛知、岐阜、宮崎、徳島、静岡と、輸入物が入荷。国内産のカトレア、コチョウランの入荷は減少。輸入物のコチョウランは増加する。オンシジウムは順調な入荷予想。デンファレは原産国が雨季により少なめの入荷となる。価格は需要が少なく、苦しい動きと思われるが、業務需要に期待したい。				
ば ら	実績	16年	442	41	
		17年	451	34	
		18年	466	38	
		19年	401	38	
		20年	379	45	
	5ヶ年平均		428	39	
	21年見通し		370	45	
概要	愛知、岐阜、三重、長野、大分、和歌山と、輸入ものが入荷。輸入ものは上旬少なめで中旬以降増加。国内産が主力の入荷となる。入荷量は剪定や改植等の影響で前年より少なめの予想。価格は婚礼や父の日需要はあるものの、活発な動きは期待できず、前年並みの取引展開となる。				
枝 も の	実績	16年	984	32	
		17年	971	29	
		18年	1,011	35	
		19年	1,001	35	
		20年	860	36	
	5ヶ年平均		965	33	
	21年見通し		865	35	
概要	静岡、愛知、岐阜、長野等より入荷。山取りものの、ドウダン、ゴンスケ、ナツハゼ、ナナカマド等は順調だが、栽培ものは新芽が固まらず少なめ。全体の入荷は前年並みの見込み。価格は品種によりまちまちと思われるが、全体的な動きは苦しい展開となる。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ファレノプシス	実績	16年	32,985	2,900	
		17年	35,124	2,664	
		18年	27,041	3,229	
		19年	24,316	3,241	
		20年	25,642	3,106	
5ヶ年平均		29,022	2,867		
21年見通し		25,000	2,800		
概要	<p>母の日需要も落ち着き、入荷はミディ系が減少し、白大輪系に集中か。大輪系の白赤、ピンクは入荷量が少なめであるので安定相場が見込まれるが、白は前述の理由から厳しい相場となりそう。昨年6月の県別入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(62%)、2位福岡(12%)、3位静岡(7%)となっている。</p>				
ハイドランジア	実績	16年	16,816	410	
		17年	26,718	393	
		18年	22,884	389	
		19年	20,351	474	
		20年	23,263	424	
5ヶ年平均		22,006	416		
21年見通し		23,000	410		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。品種の偏りがあり、色目も少ないので、単価面は厳しいそう。昨年6月の県別入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(62%)、2位埼玉(9%)、3位群馬・福岡(各6%)となっている。</p>				
スパティフィラム	実績	16年	23,970	282	
		17年	30,538	238	
		18年	35,302	266	
		19年	22,945	333	
		20年	20,913	250	
5ヶ年平均		26,734	272		
21年見通し		18,000	240		
概要	<p>入荷量はサイズを問わず減少か。6号鉢は品薄感からある程度の引き合いがありそうだが、3~5号鉢については入荷減以上に需要がなさそうであり、単価面は厳しいそう。昨年6月の県別入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知・三重(各48%)、3位岐阜(3%)となっている。</p>				



単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
バラ (ミニバラ)	実績	16年	24,087	184	
		17年	27,143	167	
		18年	25,619	161	
		19年	17,066	147	
		20年	30,587	165	
	5ヶ年平均	24,896	166		
21年見通し	25,000	150			
概要	<p>入荷量は例年並みか。最需要期を過ぎたため、単価面は厳しそう。            昨年6月の県別入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(33%)、2位三重(26%)、3位愛知(20%)となっている。</p>				
ドラセナ類	実績	16年	67,513	621	
		17年	80,192	642	
		18年	64,422	745	
		19年	54,090	675	
		20年	54,542	686	
	5ヶ年平均	64,152	671		
21年見通し	54,000	680			
概要	<p>入荷量は昨年並みか。6～8号鉢のコンシンネ曲げがメインで、おすすめである。他にもユッカ、マッサン等、豊富に入荷する見込みである。            昨年6月の県別入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(65%)、2位沖縄(20%)、3位三重(6%)となっている。</p>				
アンズリウム	実績	16年	23,717	740	
		17年	22,793	805	
		18年	29,956	979	
		19年	23,238	1,058	
		20年	23,173	1,088	
	5ヶ年平均	24,575	936		
21年見通し	23,000	1,100			
概要	<p>入荷量は昨年並みか。メインである4～6号鉢の単価面は厳しそう。中～大鉢は入荷量が少ないこともあり、安定的な販売が見込めるが、やはり単価面は厳しそう。需要が多くなる中旬以降に期待したい。昨年6月の県別入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(97%)、2位三重(3%)となっている。</p>				

# 主要農林水産物の輸出入実績(2009年)

## 1 輸入実績

品名	3月						3月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	59,673	92.6	5,500,962	80.9	92	87.4	151,318	95.3	14,192,212	84.2	94	88.4
トマト	145	126.4	42,131	103.0	291	81.5	347	84.8	97,950	67.9	282	80.2
たまねぎ	13,516	84.7	571,937	92.9	42	109.7	40,228	83.5	1,586,496	93.5	39	111.9
にんにく	1,532	98.5	117,488	70.7	77	71.8	4,742	100.9	359,623	75.6	76	74.9
ねぎ	2,061	123.2	172,978	75.0	84	60.9	6,608	84.9	534,239	57.4	81	67.6
ブロッコリー	1,748	46.6	272,414	46.7	156	100.3	4,947	69.4	814,310	69.9	165	100.7
結球キャベツ	1,275	209.5	44,783	142.4	35	68.0	5,920	436.0	189,706	309.4	32	71.0
にんじん・かぶ	5,514	111.2	302,060	76.8	55	69.1	9,323	116.5	466,952	82.5	50	70.8
ごぼう	2,686	51.7	97,891	27.0	36	52.3	8,202	72.4	279,563	45.9	34	63.4
えんどう	132	297.4	22,158	247.1	168	83.1	331	105.8	61,324	99.3	185	93.9
アスパラガス	1,991	117.3	895,132	102.4	450	87.3	4,574	113.5	2,220,654	99.1	486	87.3
まつたけ	-	-	-	-	-	-	82	-	470	-	6	-
しいたけ	380	70.2	82,550	66.4	217	94.5	1,689	81.6	365,148	74.1	216	90.8
かぼちゃ	23,965	101.3	1,243,934	74.4	52	73.5	51,871	102.5	2,929,900	75.0	56	73.1
果実(生鮮・乾燥)	174,523	118.7	17,439,824	110.4	100	92.9	468,838	120.6	45,320,063	105.0	97	87.1
バナナ	104,235	136.0	7,478,667	154.8	72	113.8	301,219	141.5	20,670,287	162.7	69	115.0
パイナップル	11,916	88.3	753,005	92.1	63	104.3	29,000	85.4	1,795,894	89.0	62	104.2
レモン	2,981	81.1	337,368	39.4	113	48.6	11,412	107.1	1,313,800	54.2	115	50.6
オレンジ	8,539	116.5	871,734	118.5	102	101.8	22,720	105.8	2,310,183	106.5	102	100.7
グレープフルーツ	27,265	99.6	2,817,816	102.7	103	103.2	58,829	94.4	5,882,770	89.3	100	94.6
メロン	3,559	97.0	422,377	97.9	119	100.9	7,107	85.8	880,888	86.8	124	101.2
ぶどう	1,617	146.7	224,321	94.2	139	64.2	2,966	159.9	465,738	100.9	157	63.1
キウイ	23	208.0	6,184	202.6	273	97.4	57	131.1	15,014	141.3	265	107.8
いちご	16	186.3	7,737	126.8	493	68.1	35	127.9	19,414	82.0	548	64.1
切花(生鮮・乾燥)	4,495	98.8	3,079,416	91.0	685	92.0	9,415	99.5	6,732,221	88.7	715	89.2
鳥獣肉類	129,510	90.5	57,961,175	87.7	448	96.9	395,041	101.8	173,505,538	96.7	439	95.0
牛肉(くず肉含む)	35,243	87.0	13,676,204	73.2	388	84.2	110,801	111.0	40,902,664	86.2	369	77.6
豚肉(くず肉含む)	64,454	96.1	33,731,467	95.6	523	99.5	182,725	98.9	95,653,082	98.4	523	99.5
鶏肉	22,870	77.8	6,871,455	91.6	300	117.7	80,095	92.9	25,580,440	116.0	319	124.9
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	134,732	92.4	69,262,334	73.5	514	79.5	402,779	90.5	209,270,150	81.1	520	89.6
まぐろ類	20,836	93.6	19,866,436	57.3	953	61.2	54,360	90.8	53,091,697	69.8	977	76.9
さば・さんま・あじ・いわし	9,998	140.4	1,572,991	134.6	157	95.9	44,386	105.6	8,078,523	98.6	182	93.4

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	2,235	147.9	582,794	123.7	261	83.7	7,801	64	1,988,193	53.0	255	82.2
うんしゅうみかん	8	68.0	4,470	101.9	575	149.9	96	63	55,777	90.1	581	144.0
りんご	2,206	152.8	545,597	138.0	247	90.3	7,540	65	1,746,318	51.1	232	79.1
なし	-	-	-	-	-	-	12	24	6,238	24.1	525	98.5
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	269,720	92.8	-	-	-	-	658,474	71.7	-	-
緑茶	158	122.3	267,617	107.6	1,695	88.0	424	131	726,587	109.3	1,714	83.4

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

## 関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <small>（全国 平成17年 = 100）</small> <small>愛知県 平成17年 = 100</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	19年平均	100.3	103.1	109.3	102.7	103.1
	20年11月	101.7	101.8	98.6	107.4	106.2
	12月	101.3	105.8	100.7	106.8	106.0
	21年 1月	100.7	109.0	104.6	106.9	106.5
	2月	100.4	101.7	100.4	106.7	105.3
	3月	100.7	103.7	97.4	106.9	105.3
愛 知 県	19年平均	100.5	100.3	111.1	100.7	103.5
	20年11月	102.1	99.7	97.5	105.2	104.7
	12月	101.8	101.4	98.0	104.9	104.7
	21年 1月	101.3	104.1	103.5	104.7	103.8
	2月	100.8	94.6	100.8	103.6	101.2
	3月	101.3	97.2	97.3	102.6	104.5

項目 年月		農業物価指数（平成17年 = 100）				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	19年平均	97.6	95.0	100.6	110.1	99.5
	20年11月	100.9	96.9	107.3	122.1	98.0
	12月	101.3	97.4	110.2	120.5	99.5
	21年 1月	98.9	98.6	110.0	99.1	95.2
	2月	96.5	98.6	101.3	103.2	96.3
	3月	103.7	98.4	122.2	84.8	96.0

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格（円）													
品目 単位 年月	うるち米 <small>（単一品種、 「コシカ」 以外）</small>	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご（ふじ）
	5 kg	1 kg										100g	1kg
19年平均	2,229	147	153	589	440	269	137	295	203	530	629	206	535
20年11月	2,183	160	142	582	437	257	128	272	194	803	678	207	453
12月	2,208	186	132	578	545	259	137	279	184	664	699	201	428
21年 1月	2,208	188	136	613	626	266	119	273	190	642	628	226	409
2月	2,215	167	127	519	426	271	118	270	185	604	599	215	395
3月	2,243	152	169	511	471	276	123	271	194	666	699	190	410
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶（せん茶）	カーネーション	きく	バラ	豚肉（ロース）	牛肉（ロース）	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
19年平均	689	356	509	165	258	705	602	163	170	315	221	776	506
20年11月	465	366	408	-	279	675	610	159	172	326	236	837	484
12月	468	364	413	173	260	669	615	162	174	351	229	828	472
21年 1月	554	346	389	150	256	669	610	162	166	335	228	791	485
2月	592	338	405	148	259	650	599	158	161	328	225	785	465
3月	606	318	345	143	253	608	607	164	168	336	223	754	473

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 432  
平成21年6月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6417